

News Release

2017年4月25日

一般社団法人日本電機工業会(JEMA)

重電機器受注生産品の受注実績 2016年度「第IV四半期(1-3月)」

JEMAでは、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器の受注動向及び需要者(業種)別の市場動向等を通して重電産業の動向を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。ここに、重電機器受注生産品の2016年度「第IV四半期(1-3月)」の受注実績を公表致します。

2016年度 第IV四半期(1-3月)の概要

【概況】

第IV四半期の受注額は4,793億円(前年度同期比88.2%)と前年同期比減少となった。

(*以下、前年度同期比は「同」と略記)

官公需は同増加となったものの、製造業、非製造業、外需が同減少となり全体を押し下げた。

【需要者別動向】

■内需

内需は3,644億円(同91.0%)と6四半期ぶりに同減少となった。非製造業の同減少が主な要因となり、堅調な水準は維持したものの同減少となった。

- 製造業は708億円(同98.7%)となった。主要需要先で見ると、鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械は同増加となったが、繊維・化学・窯業・土石、電気・情報通信、自動車と同減少となった。
- 非製造業は2,293億円(同83.2%)となった。大口需要先であり、昨年同期に高水準であった電力業が6四半期ぶりに同減少となった。
- 官公需は600億円(同128.4%)となった。防衛省が同減少となったが、その他の需要先は全て同増加となった。

■外需

外需は1,150億円(同80.4%)と3四半期連続で同減少となった。

【製品別動向】

- 発電機は内需、外需とも同増加となった。
- 電力変換装置、変圧器は内需が同減少となったが、外需が同増加となった。
- 交流電動機、直流電動機、遮断器、配電装置、制御装置は内需、外需とも同減少となった。

2016年度 重電機器受注生産品受注実績

2016年度受注額は、1兆7,219億円(同96.8%)と同減少となった。2014年度、2015年度には及ばないが、堅調な水準を維持している。

■内需

内需は1兆2,986億円(同102.2%)と同増加となった。内訳をみると製造業が同減少となったが、非製造業、官公需ともに同増加となった。

- 非製造業は大口需要先である電力業、運輸業・郵便業・通信業が同増加となり、内需全体をけん引した。
- 製造業では、繊維・化学・窯業・土石、鉄鋼業が同増加となったものの、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信、自動車と同減少となった。

■外需

外需は4,233億円(同83.2%)と前年を下回った。

■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等であり、
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等であり、

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

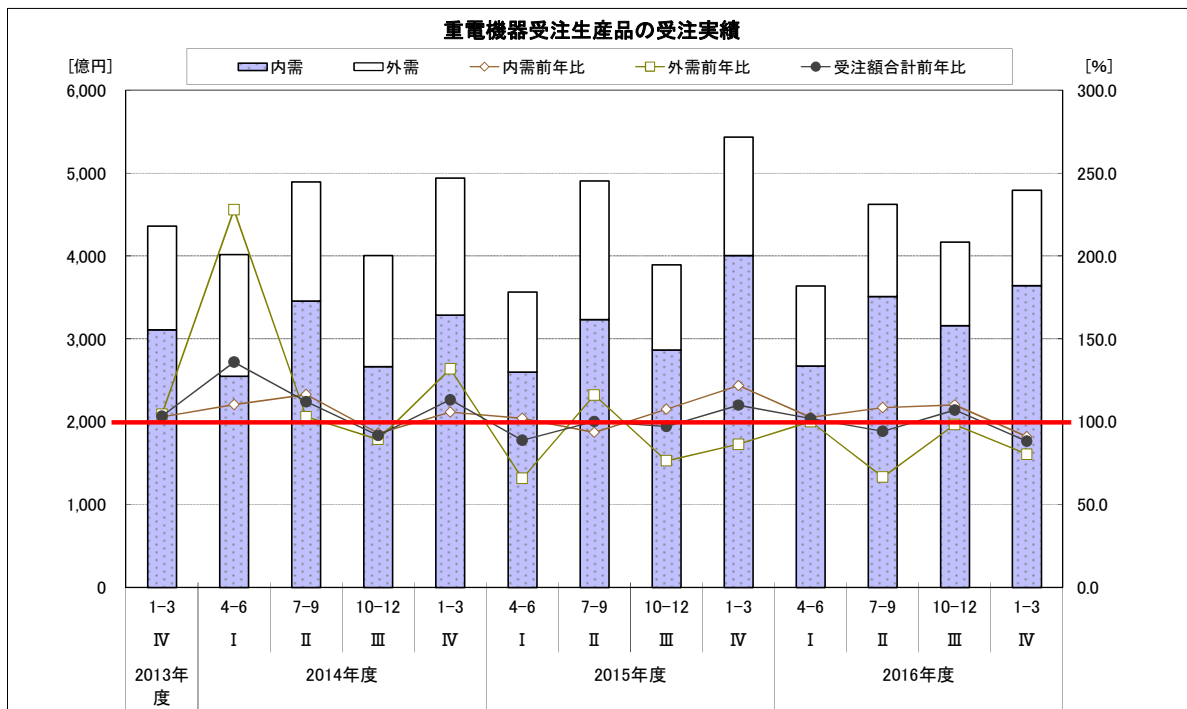
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用できます。

■公表の形態

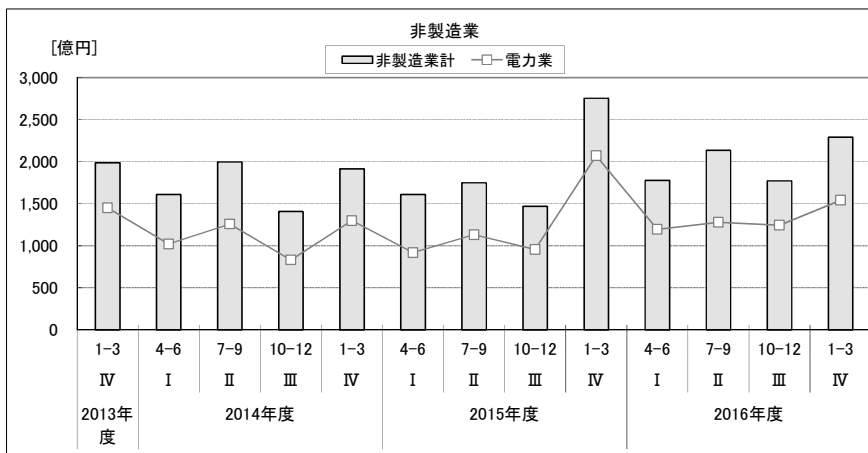
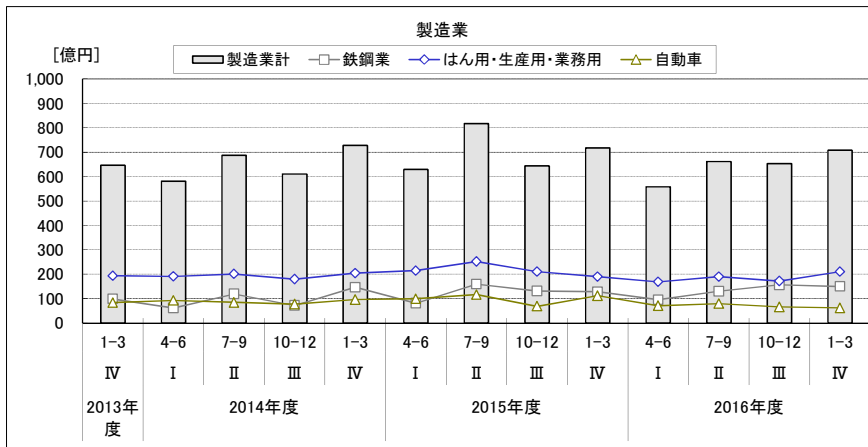
JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

■ 四半期実績の推移

【受注実績: 内需+外需】

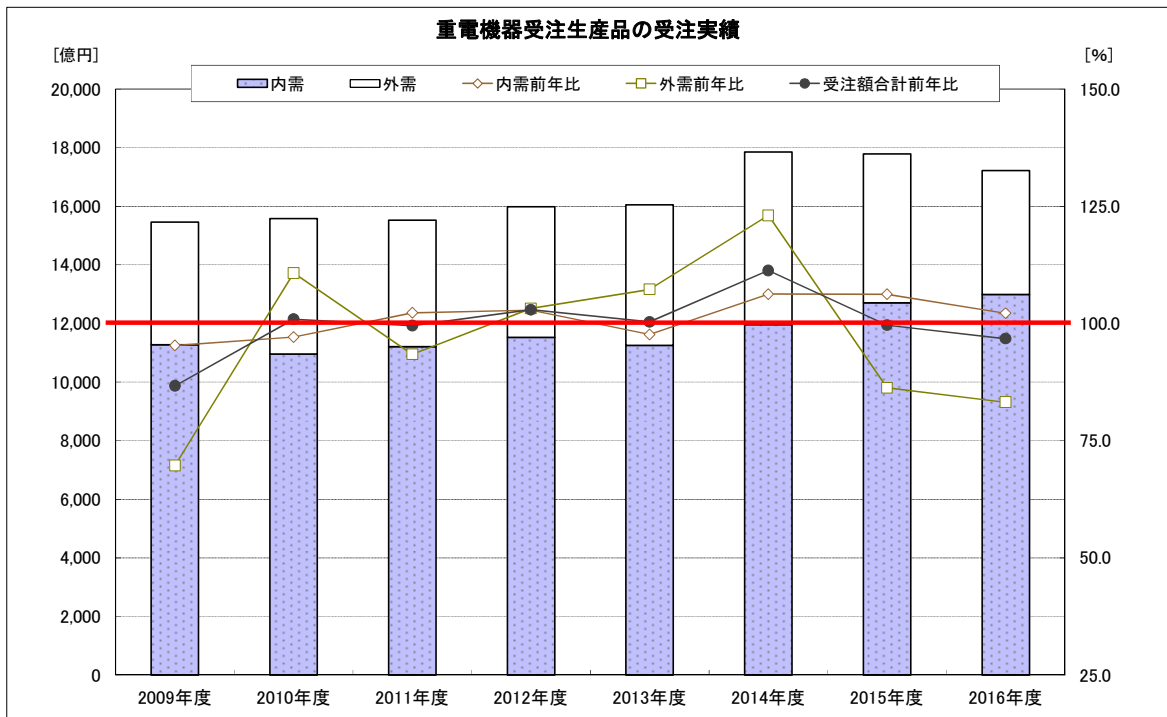


【内需内訳】

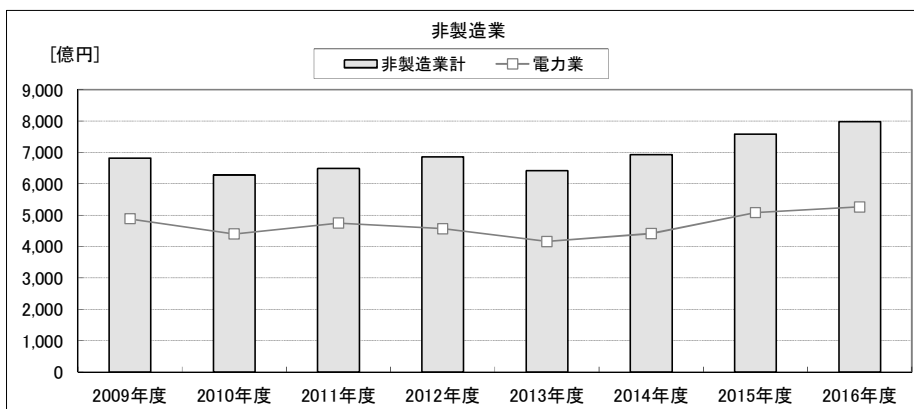
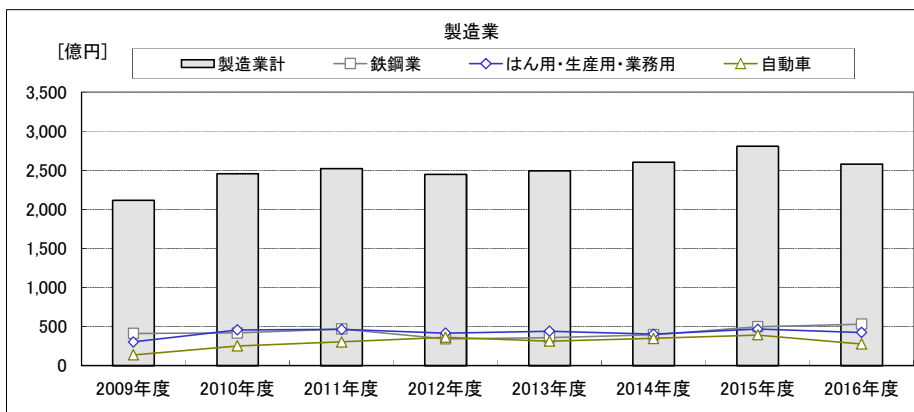


■年度実績の推移

【受注実績:内需+外需】



【内需内訳】



本資料に関する弊社問い合わせ先
 TEL: 03-3556-5885
 重電部調査統計課